

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

報告事項		内 容	
被監査事業所名		生活クラブ風の村ショートステイさくら	
監査実施日		実施日時:2019年 11月 1日(金) 10:00 ~11:00	
監査結果		<p>&lt;監査人の総評&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の壊れてしまったところ等を直しながら、動きやすい導線を考え収納するなど工夫されている。</li> <li>・ご利用者の持ち物チェック表など、わかりやすく工夫され、短時間でできるようになど、人員不足をカバーしている。</li> </ul> <p>&lt;被監査事業所のコメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人員カバーをする為にICT化*を進めてきたが、リビング・居室・共同スペース等の整理・整頓・清掃に力を入れていく。</li> <li>・ご利用者の方が「また利用したい」というハード・ソフトになるよう努力していく。</li> </ul>	
監査項目		監査人	被監査事業所 ショートステイさくら
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	
風のK 村A 業Z 務E マG ニR ュA ム ル	①就寝・起床ケアについて	実施している。洗面台に貸し出し用の入れ歯ケースがあり、忘れてしまった方に使用している。 <b>使い捨ての容器で対応した方が衛生的ではないか。</b>	入れ歯ケース基本、持参するのが原則な為、使い捨てではコスト面がかかる為、使用後は漂白を行っている。
	②入所について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重品は、ショートステイの金庫にお預かりしている。</li> <li>・ベットの高さなどはその都度対応している。</li> </ul>	
	③服薬介助について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師のコーナーがあり、そこでドアの鍵付を確認。残薬が無いことを毎回確認している。</li> <li>・就寝前の薬は居室で服薬してもらっている。</li> </ul>	
	④計画書作成評価 作成	ケアプランは使用可能な大型画面で確認出来るようになっており、ダブル画面で確認できる。	
	⑤計画書作成評価 評価	毎週火曜日に合同カンファレンスが開かれており、新規の方・気になる状態の方のカンファレンスが開かれている。	
	⑥外出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族との外出では、持参薬のお渡しに留意し、外出届けは使っていない。</li> <li>・職員との外出は人目的にしている。</li> </ul>	
	⑦新規契約 個人ファイルの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時情報シート(既往歴・主治医などが記載されている。)という書式があり、救急の方にそれを渡せるようになっていた。</li> <li>・地図、食事伝票はファイルにはない。</li> </ul>	
ご利用者アン	麻痺のある利用者の指を、便器に挟まれた。気を付けて欲しい。	片麻痺で、麻痺側を巻き込んでしまう危険があった。その後の対策として、三角巾で固定してから移乗などするなど、事故の再発に十分気を付けているとのこと。	
	食べられないものが多いが、良く対応してくれている。	監査当日は聞き取りできなかった。	

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

監査項目		監査人	被監査事業所 ショートステイさくら
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
ケ ー ト	個室内のテレビが床においてあった。改善してほしい。	相談員につたえ、改善策を講じてもらうようにした。	
1 0 の 基 本 ケ ア	1. 換気を行う	窓を開け、換気されていた。	
	2. 床に足をつけて正しい座位をとる	監査当日は確認できなかった。	
	3. トイレに座わる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ内も清潔を保たれていた。</li> <li>・2階のご利用者は認知症の方もいるので、隣の衣装箆の中にパットを収納していた。</li> </ul>	
	4. あたたかい食事をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員がご飯・副菜を盛り付け、温かいお食事を提供している。</li> <li>・その日の献立をリビングに掲示している。</li> </ul>	
	5. できるだけ普通のお風呂に入る	入浴後の移動中の方にお話を伺えて、「最高でした。」と笑顔が見られた。	
	6. 質の高い認知症ケアを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラブルを避け、席を配慮している。また、トラブルが起きたらすぐ職員が間に入り対処している。</li> <li>・身体拘束ゼロ宣言を掲示しており、意識していることはうかがわれる。</li> </ul>	
	7. お出かけを楽しむ	職員との外出は、人員不足もありお出かけはしていない。家族と出かけている。	
	8. やりたいことを見つけ、実現できる手助けをする	体操は行っているが、ゲームなどのレクリエーションは人員不足もあり、行っていない。	
	9. 本人・家族が参加してケアプラン作りをする	監査当日は確認できなかった。	
	10. ターミナルケアをする	ターミナルケアはショートステイでは、行っていない。	

2019年度 生活クラブ風の村 自主監査報告書

監査項目		監査人	被監査事業所 ショートステイさくら
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
接 遇	身だしなみ	職員に服装の乱れはなかった。	
	言葉遣い	アンケートより、とても丁寧で優しくいただき、安心していると自由記述にあり。	
	環境	<p>汚物室の棚は整理整頓され、必要なものがわかり易い。 フロアが見守りしやすい環境が整っていた。 避難経路図がエレベーター横に掲示され、ドアの前に自主検査チェック表があり日々点検されていた。 近隣の高校と交流があり、書道部の作品が飾られていた。</p>   <p>汚物室のシンクは汚れがめだった。 2・3階とも洗面台の近くに弱酸性次亜塩素酸水が(消毒薬)置いてあったが、ご利用者の手の届く場所へ置くのは、危険と思われる。ノログッズの置き場所は全員に周知できているかは、確認できなかった。</p>   <p>待合の為のペットや荷物をフロアで管理していた。</p>	<p>シンクに関しては、カルキの問題で鱗状痕が出来てしまっている為、クエン酸を使用し掃除を行った。 ステリ(弱次亜塩素酸水除菌・抗菌高機能水)の置き場は、電源の関係で、水と原液の補充をするにはこの場所が最適だったため、現状も同じ場所を使用している。 ノログッズは、各階(薬庫書棚 鍵付)にマニュアル入りのBOXを用意して職員全員に周知している。</p>
情報共有(職員間)	<p>パソコンで一括管理し、情報を取りやすくしている。 ユニバーサル就労者*2の専用の作業デスクがあり配慮されている。ファイルにインデックスが付いていて見やすかった。 洗濯手順が表示されわかり易くなっていた。</p>		

\*1 ICT化は厚生労働省の「データヘルス改革」の方針の一つで、ネットワーク通信技術を活用した業務効率化やビッグデータの整備や活用が見込まれる。

\*2 ユニバーサル就労 さまざまな理由ではたらかたいのにはたらかづらいうべての人がはたらけるような仕組みづくりや、はたらきがいのある職場環境を目指していく取り組み。